

視察研修実績

実施主体	実施年度	開催日	地域	視察研修先	対応者		視察・研修内容	
		年月日	住所	団体名	役職	氏名	目的	概要
牛深地区振興会	令和2年度	令和3年3月2日(火)	高森町役場と天草市役所牛深支所とのオンライン研修	1. 高森町役場 2. 草部南部自主防災連絡協議会 3. 草部地区活性化委員会	1. 政策推進課商工観光係長 2. 会長 3. 会長事務局	1. 馬原 2. 甲斐 3. 江藤工藤	高森町で活動されている自主防災会及び地域活性化の団体から活動内容を聞き、今後の各地区等の地域づくりにつなげていくため	1. 草部南部自主防災連絡協議会5地区それぞれで防災訓練を行っていたが、連絡協議会を立上げて一本化した。今では年に1回、5月に自主防災訓練を行っている。 2. 草部地区活性化委員会地区の除草作業・体育祭以外にも、陶芸教室・ウォーキング・まつり等で熊本市や県外の地域と継続的な交流活動を行っている。また、地域の課題については行政への要望活動も行い、実際に防災ヘリポートも設置された。
有明まちづくり協議会	令和2年度	令和2年10月28日	天草市五和町御領	御領まちづくり振興会	御領まちづくり振興会		他地区の取り組みを視察し、有明フットパス事業の参考とするため ※コロナ禍のため、天草市内	御領街並み散策「石本家と御領石工の面影コース」をガイド付きで体験。途中、軽食の提供も受けた。
有明まちづくり協議会	令和2年度	令和2年11月18日	天草市牛深町	南あまくさフットパス	南あまくさフットパス 代表	武田 他2名	他地区の取り組みを視察し、有明フットパス事業の参考とするため ※コロナ禍のため、天草市内	南あまくさフットパス「ハイヤ大橋コース」をガイド付きで体験。途中、昼食(フットパス弁当)の提供も受けた。終了後、意見交換も行った。
倉岳まちづくり協議会	令和2年度	令和2年11月10日	天草市	道の駅「イルカセンター」 道の駅「崎津ガイダンスセンター」	センター長 ボランティアガイド センター職員	植田 開	棚底城跡ガイダンスセンター建設に伴う施設等の規模や機能を確認するため	イルカセンター及び崎津ガイダンスセンターのガイダンス機能や物産販売コーナーの売場面積等の確認
宮田地区振興会	令和2年度	令和3年3月24日	天草市	道の駅「かかしの里」	なし	なし	道の駅「かかしの里」の物産コーナーの内容や接客について研修し、収益事業につなげていくため	地域の特産品の販売や飲食コーナーでの接客が行われていた

小宮地地区振興会	令和2年度	令和2年10月26日 (月)	本渡町	熊本県立 天草拓心高等学校	熊本県天草広域本部 農業普及・振興課	担当 東	当振興会において産業振興分野の取り組みにおける、将来の働き方や、人材不足を解消できるAIなどを用いた新たな農業技術に関する取り組みを地域の農業へとつなぐため研修を行う	AIやビッグデータを活用した「スマート農業」について、現在農業機器市場にて活用されている機器の実演、稼働状況、取り組み事例の発表
宮野河内地区振興会	令和2年度	令和2年8月22日	人吉	人吉	人吉社協災害ボランティア係		人吉豪雨被災地の現状を見、ボランティア活動をしながら今後の活動につなげていくため	人吉豪雨被災地視察・ボランティア活動
本渡まちづくり協議会	令和元年度	令和元年6月8日	鹿児島県さつま町	九州かあちゃんサミット	実行委員長	古田	女性が主体的に活動している団体の活動事例を学び、各地区での活動に活かすため	さつま町農産加工懇話会では、各個人が農産加工所を起業・実践する個人事業主でありながら、会員内での情報交換、勉強会の開催、合同で容器購入する仕組みを取り入れられていました。他の地域でも農産加工、食事の提供、有害鳥獣の活用など事例発表がありました。
本渡まちづくり協議会	令和元年度	令和元年10月24日～ 25日	長崎県佐世保市 佐賀県伊万里市	大地といのちの会 栄町地域づくり会	事務局長 会長	武内 井手	まちづくりを推進する協議会委員の育成と特色あるまちづくり活動の展開を推進するため	佐世保では、生ごみをリサイクルした土づくりを行い、無農薬、無化学肥料の野菜を栽培し、ごみの減量化や健康、食育にも寄与されています。伊万里市では、高齢になっても住み慣れた地域で暮らせるように訪問調査により課題を明らかにし、火災警報器の設置、資源物回収支援、ふれあいプラザの開設に取り組まれています。
本渡まちづくり協議会	令和元年度	令和元年12月5日～6 日	熊本市 南阿蘇村	黒髪校区第4町内自治会 自主防災会 南阿蘇村役場 すぎるの里	会長 復興支援課 会員	交野 堤 竹原	まちづくりを推進する振興会事務局職員の育成と特色あるまちづくりの展開を推進するため	熊本市では、熊本地震のときに避難所を運営し、トイレの水の確保、避難人員の把握、支援物資不足を感じたことから地域でも備蓄品の確保、高齢者マップなど取り組みを進められています。南阿蘇村では、復興の状況の説明、被災地域の視察、学生と交流を続けている女性の会から体験談について講話がありました。

本渡南地区振興会	令和元年度	令和元年 9月12日～13日	伊万里市	立花地区まちづくり 運営協議会	立花公民館 館長 南ヶ丘区 副館長 区長	橋口直紹 末吉建作 松尾哲司	本渡南地区の諸問題に対し、取り組みを進めている先進地の状況を視察することにより、その対策等について考えを深め、今後のまちづくりに役立てる。	伊万里市では、地域で自主的に自分たちの地域を考え、決定し、行動しながら地域づくりを行うことを目的に平成19年度から「地域の元気推進事業」を行っている。平成20年度から実践を開始し、現在では市内13地区でまちづくり事業が実践されている。 立花地区では、地域活性化部会、安心・安全部会、健康・福祉部会の3つの部会に分かれ活動を行っている。地域活性化部会では、イベントの開催、公民館まつりの開催、竹炭窯・石窯の活用等を行っている。竹炭、石窯は、平成8年に開催された世界焔の博覧会の剰余金を活用し、地域の活性化につなげようと始まった。小学生を対象として行っている通学合宿や各種教室で活用されている。安心・安全部会では、防犯パトロール等を、健康・福祉部会では、料理教室や三世代交流事業等を行っている。
本渡北地区振興会	令和元年度	令和元年 11月19日～20日	益城町 福岡市	東無田復興委員会 市民防災センター			本渡北地区が抱える各種課題について、先進的な取り組みを行っている地域などを視察研修することにより、課題解決策や新たな取り組みを見出すなど、今後の自治会活動の充実を図ることを目的とする。	東無田復興委員会は、住民の約8割が被災した東無田集落において、地域住民が主体的に結成した組織で、現地を歩きながら地震の教訓を学ぶ「災害スタディツアー」を運営している。スタディツアーでは、地震の被害を知ることだけでなく、自分の住む地域で地震が起きた場合を想定した「防災、減災」についても学ぶことができる。
栢宇土地区振興会	令和元年度	鹿児島県始良市	鹿児島県防災研修 センター	施設職員		石井	防災センターを見学、体験をいかし、自主防災訓練に役立て、防災に対する意識を持つため	鹿児島県の災害の歴史や火山災害、風水害・土砂災害などの説明・館内見学後に、家庭で取り組む災害対策として、非常用持出し品の準備や避難の方法等やゴミ袋を使った防災雨合羽受作りの体験をしました。
下浦地区振興会	令和元年度	令和元10月27日～28 日	大分県豊後高田市 熊本県熊本市	昭和の町 熊本防災センター 熊本城	昭和の町ガイド 熊本城ガイド	宮本 後藤	町の景観づくりと、地域案内(ガイド)についての研修・見学のため。 防災に関する事前知識及び被災後の行動等の講習・講話、被災後の熊本城の復興の動きについて学ぶため。	豊後高田市の一角を昭和風情溢れる町並みを残しつつ丸ごと観光地にしている。町の景観づくりの参考や町先案内人の見本として見学した。熊本市は防災センターで防災講話・体験を経て、町先案内人のガイドとともに熊本城の現状と復興の様子を見学した。

下浦地区振興会	令和元年度	令和元年11月17日	熊本県湯前町	下村婦人会	前会長	池田	下村婦人会は、漬物をメインに加工品を製造販売し、精力的な活動が認められ、農林水産大臣賞をはじめ様々な栄誉ある賞を受賞している。地域でも特産物を使用した加工品を作り出すための参考にするため。	下村婦人会は、法人化を行い建物等は市の指定管理を受けて活動している。現在30品以上の商品を製造し、販売をしている。安心安全・地産地消を念頭に「一、安全であること 二、ごまかしのないこと 三、味のよいこと 四、価格が妥当であること」を理念としています。当日は、会の立ち上げから、商品開発、地域貢献等の話をして頂いた。
楠浦地区振興会	令和元年度	令和元年10月15日 ～10月16日	大分県宇佐市	宇佐市社会福祉協議会			「黄色い旗運動」に取り組んでいる宇佐市の状況を研修し、楠浦地区振興会での見守り活動の参考とするため。	「黄色い旗運動」を導入するまでの経緯と導入効果、地域役員のかかわり方について意見交換を行った。現在、宇佐市においては28地区、配布枚数述べ3,945枚で実施されており、主な効果としては全世帯で行うことにより、地域見守りの強化や悪質訪問販売の防止、世代の違う世帯との交流が図られたとのことであった。
牛深地区振興会	令和元年度	令和2年2月2～3日	長崎県長崎市	長崎市役所 防災危機管理室	長崎市防災危機管理室 室長 係長 担当 西山2丁目自治会会長	山崎 寺平 野田・小川・田原 石谷	昭和57年に発生した長崎大水害を経験され、現在取り組まれている防災対策の内容を聞き、今後の各地区の防災対策につなげていくため	昭和57年7月、長崎市内で262人もの死者を出す長崎大水害が発生した。その後、被害の教訓と反省を生かし、「長崎防災都市構想」として総合的な治水対策の推進、急傾斜地等の対策工事などの安全な斜面空間の創生に取組まれ、現在まで大規模な水害は発生していない。また、地元の自治会長より自治会としての防災の取組みや、災害発生当時の体験談を直接聞くことができた。
久玉地区振興会	令和元年度	令和元年11月5日・6日	宮崎県都城市	興玉神社			興玉神社の研修と併せて久玉地区振興会が今以上の協力体制を確固たるものにするための融和を図るため	私たちの住む「久玉の地名」は三重県にある興玉神社が鹿児島に伝わり、そこから更に宮崎県都城市に興玉神社、牛深に久玉神社ができ、それがそのまま久玉の地名になったという説が有力となっている。久玉地区振興会は平成27年10月に鹿児島にあるくたま神社数か所を視察研修したが、今回は都城市にある興玉神社を研修する。
楠浦地区振興会	令和元年度	令和元年11月20日	熊本県美里町	美里フットパス協会	事務局	濱田	美里フットパスの取り組みを体験することで、今後の振興会事業及び楠浦フェスタ(ウォーキングイベント)運営上の参考とするため	美里フットパスのおもてなしを実際に体験するため、振興会内で参加者を募集し、「畝野よんなっせコース」に18名で参加。縁側カフェやおもてなし昼食などを体験し、地元ウォーキングイベント運営上の参考とした。

赤崎地区振興会	令和元年度	令和2年2月16日	福岡県福岡市	福岡市民防災センター	福岡市民防災センター	担当 川口	赤崎地区には6つの自主防災組織があるが、個々の組織においてあまり訓練は実施されていないため、災害の疑似体験を通して今後の活動につなげていくため。	福岡市消防局の「福岡市民防災センター」は、実際に様々な災害を模擬体験して、防災に関する知識・技術・行動力を身につけるための施設であるため、1時間ほどのコース(ガイダンスシアター、強風体験、地震体験、消火体験、火災体験など)を体験し、実際に災害が起きた場合の対処法等を学んだ。
宮田地区振興会	令和元年度	令和元年5月23日	天草市栖本町	天草市食生活改善推進協議会(倉岳地区:東保健福祉センター内)	管理栄養士	松下 美穂	生活習慣病の予防について	食に関する知識とバランスの良い食事の選択に関して、講演いただいた。講演中は味噌汁の試飲や、ご家庭の味噌汁の塩分測定等も行った。
栖本地区振興会	令和元年度	令和元年 12月10日~12日	鹿児島県三島村	鹿児島三島村役場 定住促進課	鹿児島三島村役場 定住促進課 地域おこし協力隊	飯田 坂元	町の特産品として製造している焼酎のPR、販路拡大を図るため、鹿児島県の離島三島村(黒島)で取り組んでいる「焼酎プロジェクト」の内容を聞き、今後の事業へつなげていくため	「焼酎プロジェクト」とは、焼酎蔵が多い鹿児島県では、需要と供給に併せて新規での焼酎製造許可が下りない中、交流人口の拡大、地域農産物の利用拡大を目的(条件)に酒税法の最低製造数量基準を緩和した焼酎特区として認定され、全国で初めて自治体が製造免許を取得した。取組みにあたっては、地域特産品であるさつまいもを使用し、地域住民が耕作を行うことで生きがいづくりの場を提供し、離島でもあることから、人口減少に歯止めをかけるため、製造蔵には地域おこし協力隊を着任させつつ定住者の雇用の場の創出に努めており、現在町の課題と類似していることから研修を実施。
新和まちづくり協議会	令和元年度	令和元年12月4日 ~12月5日	①宮崎県都城市 ②宮崎県小林市	①都城圏域地場産業センター(都城市) ②北きりしま田舎物語推進協議会(小林氏)	①都城圏域地場産業振興センター 産業応援課副主幹 ②北きりしま田舎物語推進協議会会長	①坂口 秀一氏 ②鬼川 直也氏	新和地域の地域づくりの参考とするため 【研修テーマ】 ①道の駅を活用した産業振興策 ②農家民泊を主体とした体験型観光の推進	①「道の駅都城」、「技の見学館」を運営。都城圏域地場産業の販路拡大、人材育成、新商品開発などの支援も担う。 ②平成18年10月に設立。北きりしま圏域の農家民泊をはじめとした体験型観光(グリーンツーリズム)を推進。豊かな自然の中で学ぶ農業体験など、教育旅行におけるツーリズムを主体に事業展開している。
小宮地地区振興会	令和元年度	令和1年11月9日	天草市牛深町	西岡勝次商店	専務	西岡勝太郎	農業以外の産業に目を向けて、身近にある天草の「産業」について知る機会づくり	小宮地地区振興会の産業振興部会において、農業への取り組みのみでなく、市内の他の産業の取り組みについて知ること、地域内の産業や、振興会の活動の今後の参考とするため、実施。作業工程や道具の工夫による作業効率を上げる仕組みづくりが大変参考となった。

五和まちづくり協議会	令和元年度	令和2年2月27日 ～ 2月28日	①福岡県宗像市 ②山口県山口市	①道の駅むなかた ②特定非営利活動法人 ほほえみの郷トイトイ	①株式会社道の駅むなかた 駅長 ②特定非営利活動法人 ほほえみの郷トイトイ事務局長	①藤野英美 ②高田新一郎	道の駅むなかたの運営や、山口市の特定非営利活動法人のまちづくり活動を視察し、五和地域づくりにつなげていくため。	①福岡市と北九州市を結ぶ国道495号沿線にあり、玄界灘を一望できる眺望の優れた「癒しの空間」を提供している。県内でも屈指の漁獲量を誇る鐘崎漁港をはじめ、各漁港から新鮮な魚介類を直売している。各社が行う「道の駅」投票において上位にランクインし、九州で一番成功している道の駅といわれている。 ②「福地ほほえみの郷構想」に基づき、「地域でつくる、笑顔あふれる安心の故郷づくり」をキャッチフレーズに、地域のよりどころとなる拠点を整備し、3年先、5年先、10年先…の将来にわたって、安心して生活でき、誇れる地域づくりを目標としている。様々な世代が抱える不安を共に地域で共有し、知恵を出し合いながら協働により解決していくことで、笑顔で安心して暮らせる地域づくりを目指している。
城河原地域づくり振興会	令和元年度	令和2年2月25日 ～ 2月26日	福岡県糸島市	JA糸島産直市場 伊都菜彩	営農部 直販担当部長	小金丸	地元の農産物やそれを使用した加工品の販売手法等を学び、今後の当振興会の特産品推進事業の参考とするため	JA糸島産直市場「伊都菜彩」では、多種類の新鮮な農産物を販売している。野菜ソムリエや食育ソムリエの資格取得しているスタッフもおられ、手書きレシピを作成し持ち帰り自由に行っている等工夫を凝らした販売活動を行っている。新鮮で安全な農産物を提供できるよう、生産者を対象とした講習会や残留農薬検査を実施する等、食を提供する責任意識を高く持ち、商品づくりに取り組んでいる。
鬼池まちづくり振興会	令和元年度	令和1年12月1日	長崎県南島原市	南島原食堂	南島原食堂 職員	長橋千津枝	成り立ちから現在の状況、メニュー開発等について学ぶ。	長崎県南島原市の最も山奥にある秘境「塔ノ坂集落(愛称とんのさか)」にある小さな小学校廃校跡地を利活用した地域情報発信型廃校カフェ。「おかえりなさい」を合言葉に、地元の方々が地元の食材を使っておもてなしをする、どこか懐かしく温かい、心身ともにゆったりくつろげる癒しの空間になっている。 地域おこし協力隊の高橋氏が立ち上げ、元々は市で運営していたが、今は独立。日曜日だけの営業だが、職員は営業日を心待ちにしており、食堂運営が生きがいとなっているとのこと。

下田南地区振興会	令和元年度	令和元年2月16日～ 2月17日	大分県別府市	社会福祉法人 太陽の家	総務課	徳田	障害者の方々が活躍の場を 広げている社会づくりを視察 し、今後の地域における障害 者への接し方等に活かしてい くため。	「太陽の家」とは、障害者が働き、生 活する施設である。障害者の働く場 づくりに取り組み、多くの人が社会復 帰している。身体に障害があっても働 く能力は関係なく、仕事や生活の場 においてユニバーサルな環境づくりに 努めている。
河浦まちづくり協議会	令和元年度	令和元年11月28日 ～令和元年11月29 日	熊本県球磨郡錦町	まちの台所あかり 錦町役場健康保険 課 錦町農林 振興課	会長 健康保険課高齢者支援 係長 農林振興課農政係長	岩見 永田 山本	JAあまくさが経営していたA コープが閉店となり、車を持た ない高齢者が買い物が出来 なくなったことから、宅配サー ビス等の内容を視察し、可能 性を調査するため。	平成23年度より民生委員やボラン ティア活動をしてきたメンバーが、食 材の地産地消に努めながら高齢者 向け弁当の宅配サービスを実施して いる。又、配達の際、町からの委託 事業として安否確認も行っている。
河浦まちづくり協議会	令和元年度	〃	熊本県球磨郡湯前 町	下村婦人会	会長	福屋	住民が床畑等で生産している 野菜を有効に活用すること と、町内にある遊休施設を活 用できないか調査するため。	戦後間もない昭和24年の貧しい時 代に、山北幸氏が加工品を販売する などして、地域で生活を支えあうた めに下村婦人会を創設した。安全安 心、地産地消による漬物等の商品の 加工と販売をしている。
富津地区振興会	令和元年度	令和2年2月15日(土) ～2月16日(日)	鹿児島県南九州市 頰娃町	タツノオトシゴハウ ス・知覧武家屋敷・ 特攻平和会館	タツノオトシゴハウス職 員		タツノオトシゴハウスは個人 経営の施設であるが地域を 活性化させたいという思いで 作られ注目を集めている。そ の内容を学び、地域づくりに つなげるため。	タツノオトシゴハウスはダイハツ工業 の「あなたを、日本を、おもしろく」プロ ジェクトで最優秀賞を受賞するなど地 域づくりの面で全国的にも注目を集 めており、天草市地域づくり協力隊も 研修に行っている。
本渡まちづくり協議会	平成30年度	平成30年10月26日	島根県邑南町	食の学校	邑南町役場 農林振興課	寺本	邑南町で行われているA級グ ルメ構想の内容を聞き、今後 の地域づくりにつなげていくた め	A級グルメ構想は、食と農に焦点をあ て都会に売り込むより、地域に来ても らう仕組みがなされている。また、飲 食店を開業したい移住者を地域おこ し協力隊として採用し、3年間で地域 での活動、必要なスキルを取得する 学校も開校しており、地域活性化して いる。
本渡南地区振興会	平成30年度	平成30年9月13日～ 平成30年9月14日	福岡県東峰村	福岡県東峰村	東峰村ツーリズム協会 会長	小野	九州北部豪雨災害の被災者 の方に話を聞くことで、日頃か らの災害に対する備えや災害 時の行動などを学ぶため。	平成29年7月に発生した九州北部 豪雨災害の被災地を案内してもら い、被害の状況や避難所の様子など 写真を見ながら説明を受けた。日頃 から区長等が中心となって防災対策 を行っていく必要がある。
栢宇土地区振興会	平成30年度		福岡県東峰村	福岡県東峰村	東峰村ツーリズム協会 会長	小野	九州北部豪雨災害の被災者 の方に話を聞くことで、日頃か らの災害に対する備えや災害 時の行動などを学ぶため。	平成29年7月に発生した九州北部 豪雨災害の被災地を案内してもら い、被害の状況や避難所の様子など 写真を見ながら説明を受けた

本渡北地区振興会	平成30年度	平成30年11月8日	福岡県春日市	春日市自治会連合会	春日市自治会連合会会長	秋枝 恵美	自治会加入やゴミ問題、一人暮らしの高齢者の対策法、また、自主防災組織など、問題点が多く他地区での取り組みを聞き、北地区の地域づくりに役立てていくため	春日市自治会連合会は、35自治会における住民自治の確立を積極的に支援し、春日市民が心豊かな暮らしを実感できる地域コミュニティ作りを寄与することを目的としている。平成23年度より、各自治会が会務を円滑に運営できるように、六つの中学校区毎に、各自治会が連携・協力して運営を行っている。
亀場地区振興会	平成30年度	平成30年10月31日	鹿児島県霧島市	福山町 佳例川地区自治公民館	佳例川地区公民館長 霧島市福山総合支所	仮屋 富永	佳例川地域で行っている地域づくりの内容を聞き、今後の地域づくりにつなげていくため	さつまいも(蔓無源氏)の植栽による耕作地対策の実施、鹿児島大学、トヨタ車体と連携しながら、ウォーキングイベント等を実施するなど限界集落であっても活動できる仕組みを導入している
下浦地区振興会	平成30年度	平成30年10月27日、 28日	菊池市	菊池市役所 堤酒造			廃校の利活用	廃校を利用して酒造業をする業者を訪問した。
下浦地区振興会	平成30年度	平成30年11月10、11 日	熊本、宮崎、鹿児島				各地のふるさと祭りの見学	各地のふるさと祭りを見学し、下浦地区のふるさと祭りに活かす。
下浦地区振興会	平成30年度	平成30年11月18日	天草市河浦町崎津				世界遺産に登録された崎津地区を見学	崎津の町並みを見学し、景観についての意識を高めた。
本町地区振興会	平成30年度	平成30年12月5日～ 平成30年12月6日	鹿児島県鹿屋市串 良町柳谷	やねだん	自治公民館長	豊重	やねだんが実践する「行政にたよらないまちづくり」を学ぶことで、今後の振興会の活動に活かすため。	行政の補助金に頼りきりでは、集落も人も育たないという考えから、住民総出で地域活動に取り組む。土着菌堆肥からサツマイモ栽培とオリジナル焼酎開発、唐辛子栽培からコチュジャン開発といった、集団営農から六次産業化を推進し、集落独自の財源を築いている。
宮地岳地区振興会	平成30年度	平成30年11月17日～ 11月18日	宮崎県 鹿児島県	①道の駅 えびの ②道の駅 なんごう ③くにの松原おおさ き ④道の駅 松山 ⑤道の駅 弥五郎伝 説のさと ⑥道の駅 すえよし	なし		令和2年度宮地岳観光交流施設整備に向け、各地の道の駅の状況を視察し、今後の整備に向けたヒントを得るため	各道の駅では、地域の農産物やお土産品の販売、レストラン、情報コーナー、モニュメントなど趣向を凝らした整備がされており、施設建設に向け、運営する側の目線でよい点、悪い点を考えながらの研修であった。

牛深地区振興会	平成30年度	平成31年2月17～18日	鹿児島県鹿児島市	鹿児島市役所 危機管理課	鹿児島市危機管理課主 査	貴嶋	鹿児島市で平成5年8月に発生した豪雨災害を経験され、現在取り組まれている防災対策の内容を聞き、今後の各地区の防災対策につなげていくため	鹿児島市では、平成5年8月豪雨により始良郡を中心とした地域で豪雨被害を受けた。また、平成30年7月豪雨においても被害を受け、人的被害も発生している。鹿児島市では、大規模災害発生時には公的機関が行う活動に限界があることから、自主防災組織の結成促進、活動に関する助言などを行うため、地域安心安全推進指導員を設置されている。また、各種補助制度や安心安全ガイドブックを平成30年に作成し、配布を行っている。
有明まちづくり協議会	平成30年度	平成30年11月11日	熊本県芦北郡芦北町	フットパス芦北	代表	佐藤 圭吾	有明町でのフットパス事業取り組みの参考とするため	WaWくまもと国際シンポジウムの一環として開催されたインターナショナルウォーク(芦北町・御立岬コース)へ参加。先進地のコース、看板、もてなし(おやつ)、弁当、受入状況を体験した。
中田地区振興会	平成30年度	平成31年3月17日	鹿児島県長島町・獅子島	道の駅(獅子島屋) 一周 長島大陸市場食堂 道の駅(黒之瀬だんだん市場) ブーゲンビリアの丘	なし	なし	中田地区からフェリーで渡ればすぐ近い場所にある他県で、地元ならではの海産物・農産物が展示販売され賑わっている道の駅や、漁師さんグループで運営されているレストランなど見学	中田地区も同様の海、山の地形で、海産物農産物をどう加工・展示され販売されているのか参考にするため見学に行った
城河原地区振興会	平成30年度	平成31年3月4日、5日	福岡県八女市 宮崎県東諸県郡綾町	立花ワイン(株) 蔵元 綾「酒泉の杜」			地元特産品の開発を行い、自主財源の確保を目指す	地元いくりを生産者から購入・ペーストにし、酒造会社、お菓子会社等10社程度に原材料として卸している。また、販路拡大のため立花ワイン(株)へ、いくりを使ってワインの試作品を製作していただき可能性を調べてもらっている。
鬼池地区振興会	平成30年度	平成30年12月16日	熊本県宇土市下網田町	NPO法人網田倶楽部 網田駅カフェ「レトロ館」	網田駅カフェ「レトロ館」 スタッフリーダー	浦本晴美	地元住民たちが自主的に運営されている。立ち上げ時の行政へのアプローチや活動経緯を伺い、鬼池地区でも何かできないかヒントを探し他の地区の活動を見て婦人部の刺激になることを目的に実施	「行政に何を求めるかではなく、まずは自分たちで何が出来るか」をまちおこし理念に地元住民で考え活動されています。網田駅鉄道用地の雑草木伐採清掃活動といった地道な活動や、NPO法人を取得し駅舎の魅力を高める事業を重ね駅カフェを開設されています。 地元特産品の「海苔」のPR・商品ブランド化、駅カフェでの各種イベントの開催、列車通学児童宿題サポート応援活動等駅を中心とした多岐にわたる活動をされています。

福連木地区振興会	平成30年度	平成31年2月16・17日	鹿児島県始良市	北山校区コミュニティ協議会		内甑	「地域の資源を活かした里づくり」と「耕作放棄地の活用」へ先進的な取り組みを行っている団体を視察研修し、今後の福連木地域づくりの参考とする。	耕作放棄地を活用したそばづくりや空き家の整備による移住の促進を行っている。成果として、そばの生産や茶屋の開設等を通して、北山そばブランドを内外に発信し、交流人口の増加と財源確保に繋がった。空き家等を活用した移住促進により、定住人口が徐々に拡大し、地域の活性化に繋がっている。
富津地区振興会	平成30年度	平成31年2月10日	福岡県八女市 玉名郡和水町 宇城市	「道の駅たちばな」 「道の駅きくすい」 「道の駅 サンサンうきっ子」			「崎津集落ガイドセンター」指定管理委託の話を念頭に、あらためて各地の道の駅を見学し、参考にするため	
新合地区振興会	平成30年度	平成31年2月26日	熊本市内	熊本市内復興支援 護国神社 熊本城彩苑 くまもと植木市	護国神社宮司 他	中村 氏	熊本地震復興支援を目的に行う。震災した護国神社へ拝礼するとともに当時の様子や現在の状況を説明をうける。	熊本地震後の復興状況を視察する。また、熊本城彩苑に於いては、観光名所にあたるため、どんな特産品・土産物が好まれるのか視察する。また、くまもと植木市については、復興支援を目的に行った。
本渡まちづくり協議会	平成29年度	平成29年10月5日～6日	①鹿児島県薩摩川内市 ②熊本県水俣市	①大馬越地区コミュニティ協議会 ②久木野地域振興会	①会長 ②館長	①水流 ②沢畑	本渡地域におけるコミュニティセンター運営や管理等について、先進地を研修し、まちづくりを推進するなかで、地域の諸課題を解決し、今以上に各地域独自の特色ある地域づくり活動を展開することで地域内の活性化を図る	①平成16年の市町合併を契機に組織を設立。自主財源の確保のため平成18年から特産品開発(しそつぶ物語)に取り組む。地区コミュニティセンターの指定管理を受けており、利用者からアンケートを取り運営に努めている。 ②水俣市から約800万円の管理委託を受け施設を運営。年間約2200万円の収入。地域は水俣市から村丸ごと生活博物館と指定されている。
本渡まちづくり協議会	平成29年度	平成29年11月29日～30日	①佐賀県唐津市 ②福岡県大牟田市	①甘夏母ちゃん ②はやめ南人情ネットワーク	①代表 ②代表	①山口 ②汐待	本渡地域のまちづくりを推進するうえで、リーダー的存在である本渡まちづくり協議会委員の育成を図るとともに、様々な課題を解決し、特色あるまちづくり活動を展開することで、本渡地域の更なる活性化を図る	①30年程前から甘夏の加工を開始。年間5000万円程度を売り上げるようになり、従業員を8名雇っている。 ②取り組みを開始して14年。徘徊ネットワーク模擬訓練等、認知症のお年寄りや家族を幅広く支える取り組みを行っている。

本渡まちづくり協議会	平成29年度	平成30年1月19日～20日	熊本県人吉市・あさぎり町	(一財)地域活性化センター (地方創生実践塾)	①(有)ひまわり亭代表取締役 ②人吉市長 ③(同)フットパス研究所代表 ④(一財)学びやの里事務局長 ⑤九州自然学校協議会(NSP-Q)代表、RQ九州代表 ⑥(株)高千穂ムラたび代表取締役 ⑦(一社)九州のムラ代表理事 ⑧うすきツーリズム活性化協議会	①本田 ②松岡 ③井澤 ④江藤 ⑤山口 ⑥飯干 ⑦養父 ⑧小金丸	本渡地域のまちづくりを推進するうえで重要となる地域リーダーの育成を図り、地域の様々な課題を解決し、特色あるまちづくり活動の展開を推進することにより、本渡地域の更なる活性化を図る	各種講師陣による講義のほか、食のワークショップ(地元の旬の食材を使った料理づくり)、グループワーク等を実施。
本渡南地区振興会	平成29年度	平成29年9月14日～15日	鹿児島県始良市	柁城校区コミュニティ協議会	会長	今村	本渡南地区に山積する諸問題に対して、取り組みを進めている先進地の状況を視察することにより、その対策について理解を深め、今後のまちづくりに役立てる。	柁城校区コミュニティ協議会へ行き、行っている活動内容の説明を受け、その後、未加入世帯や高齢化の問題など共通の問題等についての意見交換を行った。
本渡北地区振興会	平成29年度	平成29年11月9日～10日	鹿児島県霧島市	霧島市上小川地区自治公民館	館長	池田	地域課題についての解決策や新たな取り組みを見出すなど、地域づくり活動の充実に役立てる	お弁当配布時に声かけ・安否確認・会話・触れ合いの機会など、見守り活動などの研修
亀場地区振興会	平成29年度	平成29年10月26日～27日	福岡県福岡市 福岡県宗像市	福岡市防災センター 宗像市コミュニティ協働推進課 吉武地区コミュニティ運営協議会	宗像市コミュニティ協働推進課コミュニティ係 吉武地区コミュニティ運営協議会長 吉武地区コミュニティ運営協議会事務局長	田村泰貴 花田亮 高山國敏	災害時の対応を参考するため、福岡県宗像市のコミュニティ運営協議会に関する概要ならびに吉武地区の取組を参考とするため	○福岡市防災センター 火災体験、消火訓練、地震体験、強風体験をとおして、もしものときの知識や対処法について学びました。 ○地域コミュニティ運営協議会について、 ・小学校区区域ごとに設置。 ・ニーズの多様化、財政健全化などを踏まえ、コミュニティを重視し、自己決定・自己責任・自己実現を図る。 ・地域内の窓口と市の窓口を一本化する。 ○吉武地区コミュニティ協議会について ・子どもの健全育成、子育て世帯の負担軽減のため、地域で学童保育の指定管理を受託している。 ・地域の市民活動団体で寺子屋の事業も実施している。

栢宇土地区振興会	平成29年度	平成30年2月17日	福岡県久留米市	エンザイ緑販	社長	福島明裕	櫨の植え方や育て方、植樹に あたり苦勞されたことなどを聞 き、栢宇土町櫨活動に繋げて いく。	櫨の苗植えから管理、収穫方法など 研究され、現在では櫨苗の受注者も 増えるなど成果があっている。
栢宇土地区振興会	平成29年度	平成30年2月18日	福岡県八女市	第29回夢たちばな観 梅会実行委員会 第29回夢たちばな観 梅会「竹あかり幻想 の世界&書家 平島 桂仙作品展」	八女市役所 立花支所 産業経済課・立花町観 光協会	—	栢宇土町イルミネーション事 業の竹を利用したイルミネー ションでも、参考にしながら更 なるレベルアップを図る。	夢たちばな観梅会は、約3万本の白 梅を觀賞するイベント。谷川梅林一 帯は九州の梅の三名園と呼ばれ、 シーズン中には多く観光客が訪れ る。 会場にあるワインセラー内で行われ る、約3000本の竹を利用した「竹あ かり幻想の世界」は、光のアートが圧 巻。地域のボランティアが約2ヶ月間 かけて作られる。
志柿地区振興会	平成29年度	平成29年7月22日	熊本県熊本市、菊 池市	①熊本市広域防災 センター ②きくちふるさと水源 館	菊池市企画振興課 参 事 きくちふるさと水源交流 館長 NPO法人きらり水源村 事務局長	岩根 武志 城 直之 宮原 美佐子	・熊本地震を踏まえ地域の防 災意識の向上と、閉校後の利 活用事業の取組について考 察を深めるため。また、菊池 市で受入をおこなっている地 域おこし協力隊の活動内容に ついて把握し、当地区でも導 入できないか参考にするため	①熊本地震時に状況や、避難所で活 用された段ボールベット、非常食の 紹介など、身近にできる対策につ いて学ぶことができた。 ②旧水源小学校を利活用し、宿泊施 設や自然体験、農家レストランの運 営等幅広く行っている。
志柿地区振興会	平成29年度	平成29年7月23日	熊本県山鹿市	ほっと岳間	山鹿市地域生活係長 同 主任主事 山鹿市鹿北市民セン ター地域係 NPO法人岳間ほっと ネット理事長 同 職員	阪本 麻子 船津 理文 北原 チヅ 本田 隆一 鬼塚 睦夫	閉校後の利活用事業の取組 について考察を深めるため。	旧岳間小学校を利活用し、平成25年 度から活動を開始されている比較的 新しい団体。設立までの過程や現在 の取組状況について意見交換を行っ た。また、大学生の協力を得て活用 方法を検討し、レストラン(カフェ)をひ らいたり、寄贈してもらった本を集め て、図書館を開設したりなど、非常に 興味深い活動を行っている。
下浦地区振興会	平成29年度	平成29年10月29日	福岡県福岡市、鞍 手町	福岡防災センター くらて学園		寺田	災害時の備えと対応について 及び廃校の利活用について の研修を行うため。	福岡防災センターで災害時の備えに ついて研修を行った。その後、廃校 舎を仮装や写真撮影の会場として開 放している鞍手町のくらて学園を訪 問し、廃校舎の利活用についてお話 いただいた。自治活動部会12名参 加。
下浦地区振興会	平成29年度	平成29年11月9日	山都町	菅里山レストラン	代表	菅	民泊、里山レストランの運営 についての研修を行うため。	地元の食材を使った里山レストラン の経営と民家でのおもてなしにつ いて、実情をお話いただいた。女性部 19名参加。

本渡まちづくり協議会	平成28年度	平成29年2月14日～ 15日	①岡山県笠岡市 ②岡山県倉敷市	①かさおか島づくり 海社 ②倉敷市役所市民 活動推進課	①事務局長 ②倉敷市市民活動推進 課長 主任 副主任	①石井 ②藤原 渡邊 今田	本渡地域のまちづくりを推 進するうえで、リーダー的存 在である本渡まちづくり協議 会委員の育成を図るととも に、様々な課題を解決し、特 色あるまちづくり活動を展開 することで、本渡地域の更な る活性化を図る。	①介護・買い物支援 ②地域の課題解決応援ブック
本渡南地区振興会	平成28年度	平成28年9月14日～ 15日	宮崎県宮崎市	大塚台地域まちづく り推進委員会	大塚台地域まちづくり推 進委員会会長	兒玉	本渡南地区に山積する諸問 題に対して、取り組みを進め ている先進地の状況を視察す ることにより、その対策につ いて理解を深め、今後のまち づくりに役立てる。	大塚台地域まちづくり推進委員会 のある大塚台地域事務所へ行き、 行っている活動内容の説明を受け、 その後意見交換を行った。 ○防犯防災関係 各区で避難訓練を行っており、大塚 台地域全体としては、毎年12月の初 めに防災の日として避難訓練をして いる。毎年テーマを決めて行ってい て今年度は住民の安否確認としている。 ○ボランティアセンター関係 まちづくり交付金事業で実施運営し ている。会員制をとっており協力会員 (ボランティアをしたい人)、利用会員 (ボランティアを受けたい人)ともに年 会費制となっている。

<p>亀場地区振興会</p>	<p>平成28年度</p>	<p>平成29年1月28日～2月1日</p>	<p>鹿児島県薩摩川内市</p>	<p>薩摩川内市コミュニティ課 黒木地区コミュニティ協議会</p>	<p>薩摩川内市コミュニティ課主幹 黒木コミュニティ協議会長</p>	<p>木場 義勝 村原 政和</p>	<p>薩摩川内市のコミュニティ協議会に関する概要ならびに黒木地区の取組を参考とするため</p>	<p>○地域コミュニティ協議会について、 ・地域自らが考え、地域自らが取り組む主体的な地域づくりを進めるため、自治会・体育協会・生涯学習振興会・子供会・高齢者クラブ等の機能(運営体制や助成体制など)や事務局体制の強化を図りながら、より充実した横断的な地区コミュニティの組織体制の確立・運営のためのしくみを平成17年度から設けている。概ね小学校単位で48地区あるコミュニティ協議会を設置したことで、地区の一体感の醸成と特色ある活動の活性化を図ることができた。今後の課題としては、役員が固定化し住民総出の活動となっていないこと、運営資金の確保、次世代の育成がある。</p> <p>○黒木コミュニティ協議会について ・ふるさと歩こう会の活動が環境美化(空き缶拾い)や歴史散策(史跡めぐり)も行うように発展してきている。また、地域で学童保育を実施している。その資金確保のため、焼酎を製造・販売している。そして、農業体験(米づくり)による交流事業を実施している。</p>
<p>栢宇土地区振興会</p>	<p>平成28年度</p>	<p>平成29年1月31日</p>	<p>佐賀県嬉野市塩田町</p>	<p>塩田町はげ紅葉会</p>	<p>塩田町はげ紅葉会 代表</p>	<p>尾形 満智子</p>	<p>塩田町はげ紅葉会で取り組まれている櫛活動について、活動内容や苦勞されたこと、今後の計画などを聞き、栢宇土町櫛活動に繋げていく。</p>	<p>塩田町はげ紅葉会は、地域の衰退をなんとかしなければとの思いで17人の女性賛同者で平成9年から継続して20年間櫛活動を行っている。櫛の苗植えから管理、収穫・出荷方法など研修会等で勉強され、現在では収益も上がり、また、賛同者も増えるなど成果があっている。</p>
<p>志柿地区振興会</p>	<p>平成28年度</p>	<p>平成28年11月5日～6日</p>	<p>福岡市、唐津市</p>	<p>福岡市防災センター HKK平之分校活性化協議会(唐津市厳木地区)</p>	<p>HKK平之分校活性化協議会 会長 唐津市厳木支所産業課 集落支援員</p>	<p>秀島 崇 田中 智夫</p>	<p>地区内の防災意識の高揚と閉校後の跡地利用についての先進地視察。</p>	<p>福岡市防災センターにおいては、地震や強風体験、消火訓練など総合的に体験することができるため、参加者に好評である。また、今回志柿地区の2小学校が今後閉校することが決定しているため、廃校跡地を利用した地域づくりを実践されているHKK平之分校活性化協議会を視察先とし、地域の婦人会等が中心に開催されている農家レストラン事業の他、今後の取組について意見交換を行った。</p>

本町地区振興会	平成28年度	平成28年10月16日	阿蘇市一宮町	阿蘇市近辺	-	-	熊本地震に於いて被災した地域の現状を見て、感じながら今後、地域が被災した場合の対策を考える。また、阿蘇地域に貢献するために視察を行う。	被災した地域を回り、温泉、食事、お土産などをしながら被災した地域への貢献
下浦地区振興会	平成28年度	平成28年10月30日～31日	佐賀県有田町	有田まちづくり公社	有田まちづくり公社 代表取締役社長	高田 亨二	有田まちづくり公社で行っている多種多様なまちづくり活動についてお話を聞き、地区の活動にいかしていくため	有田まちづくり公社は、有田町に魅せられて移住してきた方たちで構成され、有田の魅力を発信するために、様々な取り組みを行っている。今回は、代表取締役である高田様より、公社の立ち上げから現在に至るまで、どのような苦労があり、どのような成果があったか、実体験をもとにお話しいただいた。
牛深地区振興会	平成28年度	平成29年2月6日	長崎県平戸市	平戸市役所 総務部地域協働課 文化観光部文化交流課	平戸市総務部地域協働課長 地域協働課協働交通政策班長 地域協働課協働交通政策班 文化観光部文化交流課 文化遺産班係長	鴨川 江川 木村 北島	他の団体を視察し、交流することによって、地区振興会の充実や役員の資質向上を図るため	地区振興会の役員が年に一回、県内外において先駆的な活動や、地域に根付いた活動を展開している地域づくり団体等を訪れ研修を行う。本年度は、平戸市で研修を実施し、田助ハイヤ、世界遺産、まちづくりの取組について説明を受け、意見交換を行った。
有明まちづくり協議会	平成28年度	平成28年10月12日	熊本県美里町	美里フットパス協会	合同会社フットパス研究所 代表・副代表	井澤るり子 濱田孝正	有明まちづくり協議会・各地区振興会・商工会・観光協会等で連携して、有明町にもフットパスコース作成し、交流人口の増加を図るため。	①有明まち魅力発見隊、天草市商工会有明支所関係者、有明支所職員等18人参加 ②「畝野よんなっせコース」のフットパス歩き、現地のおもてなしを研修 ③有明でもフットパスコースを策定することを決定
御所浦地区振興会	平成28年度	平成28年12月8日	天草市五和町	城河原地域づくり振興会 二江まちづくり振興会	城河原地域づくり振興会役員 二江まちづくり振興会役員		地域づくりにおける組織の在り方、地域の課題解決策、新たな事業への発想の転換等、地域づくり活動の充実に役立つため	3地域の振興会が合同で其々の組織の在り方、活動状況を説明し、意見交換を行うと同時に今後の取り組みについても意見を交わした。二江まちづくり振興会、城河原地域づくり振興会のどちらも地域資源を生かした活動を部会中心に積極的に展開されており、今後の振興会組織の在り方、事業活動を検討するうえで非常に参考になった。
宮田地区振興会	平成28年度	平成29年2月26日	天草市新和町	「日本の宝島”天草”づくり講演会」	川根振興協議会長	辻駒 健二	宮田地区コミュニティセンターを地域づくりの拠点施設として、有効活用していくための参考とするため	「日本の宝島”天草”づくり講演会」を振興会役員研修会に位置付けて実施し、役員10名が参加した。

栖本地区振興会	平成28年度	平成28年10月13日～15日	徳島県上勝町	上勝町 神山町			上勝町や神山町で行っているまちづくりを参考に今後の地域づくりにつなげていくため	
栖本地区振興会	平成28年度	平成29年3月18日～19日	鹿児島市	鹿児島まち歩き観光 ステーション 鹿児島観光ボラン ティアガイド			先進地を参考に、栖本町におけるボランティアガイド養成など、今後の地域づくりにつなげていくため	
小宮地地区振興会	平成28年度	平成28年9月30日	佐賀県鳥栖市	鳥栖市役所 市民協働推進課	鳥栖市市民協働推進課 長 課長補 佐 係 長	篠原 岡本 大石	鳥栖市でおこなっている事業である「夢プラン21事業」等、地域づくりの内容を聞き、今後の各地区の地域づくりにつなげていくため	「夢プラン21事業」とは、子ども達から叶えたい夢を募集し、それを叶える過程で地域ぐるみで子育てを考えるという取り組みである。この事業は平成17年度から取り組んでおり、平成25年度までに23件の夢の実現にいたっている。夢の実現のため、地域「夢プラン21てだすけ隊」や「夢プラン21実行委員会」などを組織活動をおこなっている。
本渡まちづくり協議会	平成27年度	平成27年10月22日～24日	①徳島県上勝町 ②徳島県神山町					まちづくり人材育成事業
志柿地区振興会	平成27年度	平成27年7月11日～12日	①熊本県下益城郡 ②福岡県福岡市	①美里フットパス研 修・体験 ②福岡市民防災セン ター	担当者		先進的な取り組みを実践している団体及び施設を視察し、その分野の理解と知識を深め、今後のまちづくりに役立てる。	①地域が守ってきた地域にしかない魅力を、ウォーキングを中心とした体験、交流を通して参加者自身が発見し、経費をかけず、あるものを活用して楽しめる、今求められている地域の方が主体で取り組める新しい地域振興。 ②災害の模擬体験を通して防災に関する知識や対策法などを身につけてもらう施設。
下浦地区振興会	平成27年度	平成27年6月28日	美里町	美里フットパス	ガイド		フットパス事業実施検討のため	15コースの中の「美里のマチュピチュ 小崎棚田コース(4km)」をガイド付きで体験した
下浦地区振興会	平成27年度	平成27年6月29日	福岡県大牟田市	はやめ南人情ネット ワーク	ネットワーク代表世話人	汐待 律子	高齢者福祉の先進地視察	10年間にわたり認知症のお年寄りを保護する活動などに取り組まれ、「第4回地域再生大賞」を受賞された「はやめ南人情ネットワーク」を視察

下浦地区振興会	平成27年度	平成27年11月21日	菊池市	NPO法人 きらり水源村	館長 事務局長	平山 直継 宮原 美佐子	女性が活躍している地域の視察を行い、活動のヒントやリーダー育成につなげるため	手作り料理を持ち寄り、展示・試食・意見交換を行う。水源食の文化祭などの地域活性化事業や、都市農村交流事業、自然体験活動支援事業、自然環境保全事業などを行っており、多くの住民を巻き込んだ活動をされている。
楠浦地区振興会	平成27年度	平成27年8月27日～28日	福岡県上毛町	田舎暮らし研究サロン				
本渡まちづくり協議会	平成26年度	平成26年9月25日～26日	【人材育成研修】 ①長崎県佐世保市 ②長崎県西彼杵郡美里町	①(財)佐世保観光コンベンション協会 ②長与南地区コミュニティ運営協議会	①協会事務局(佐世保市観光地域づくり推進室) ②協議会事務局(長与町地域政策課)	①塩見 ②松田	本渡地域のまちづくりを推進するリーダー的存在である本渡まちづくり協議会委員のさらなる育成を図るとともに、本渡地域のまちづくりを推進するなかで、地域の諸課題を解決し、これまで以上に各地域独自の特色ある地域づくり活動を展開することで地域内の活性化を図る。	①市民協働による観光振興 ②まちづくり、まちづくり計画
本渡まちづくり協議会	平成26年度	平成27年2月25日～26日	【まちづくり研修】 ①熊本県阿蘇市 ②熊本県下益城郡美里町	①(財)阿蘇地域振興デザインセンター ②美里フットパス協会	①事務局長 ②事務局長	①坂本 ②濱田	地域住民のまちづくりにライする意識を深め、まちづくりを推進するとともに、まちづくりを担う人材の発掘及び育成を図り、今後の事業展開につなげる。	①観光地域づくり、門前町商店街 ②美里フットパス
本渡南地区振興会	平成26年度	平成26年9月9日～10日	①佐賀県武雄市 ②佐賀県神崎市	①佐賀県立宇宙科学館 ②リサイクル九州選別センター			本渡南地区の諸問題に対して、取り組みを進めている先進地の状況を視察することにより、その対策について理解を深め、今後のまちづくりに役立てる。	①ほたる祭りを開催するにあたっての経緯や現在の取り組み状況等について説明を受けました。 その後、ホテルの生態や地域ボランティア活動の状況等についての意見交換を行い、現地視察を行った。 ②トレーやペットボトルの分別工程や作業状況について、現場を見ながら説明を受け、その後会議室に移動し、トレーの選別方法やエコトレー製造工程等のDVDを鑑賞した後、質疑応答を行った。
本渡北地区振興会	平成26年度	平成26年7月24日	佐賀県鳥栖市	鳥栖市役所市民福祉部 市民協働推進課			地域課題についての解決策や新たな取り組みを見出すなど、地域づくり活動の充実に役立てる	全小学校区でまちづくり推進協議会を設立し、住民と行政の協働によるまちづくりを推進している。

本渡北地区振興会	平成26年度	平成26年7月25日	福岡県大牟田市	福岡県大牟田市 はやめ南人情ネット ワーク	はやめ南人情ネットワ ーク 代表	汐待	地域課題についての解決策 や新たな取り組みを見出すな ど、地域づくり活動の充実に 役立てる	認知症の高齢者などを地域ぐるみで 見守る取り組みの内容や、地域(自 治会)としての役割、徘徊模擬訓練を 通した地域コミュニティー(ネットワ ーク)づくりなどについて研修
本渡北地区振興会	平成26年度	平成28年11月17日	佐賀県伊万里市	特定非営利活動法 人 NPO栄町地域づくり 会	会長	井手 薫	高齢化社会を踏まえた地域 対策	空き店舗を活用し、活動拠点「栄町 ふれあい館」支温の家”を開設。「支 えあい」をキーワードに高齢者が住 み慣れた地域で安心して住めるまち づくり推進のための支えあいによる 支援活動に取り組んでいる。
亀場地区振興会	平成26年度	平成26年11月11日～ 12日	宮崎県宮崎市	宮崎市役所 地域振興部 地域コミュニティ課 宮崎市自治会連合 会	宮崎市自治会連合会 宮崎市地域コミュニテイ 課 環境業務課	木村	自治会加入促進の取り組み ゴミだしマナー	・区への未加入は全国的な問題であ ることから組織自体は多少異なるが 自治会連合会の取り組みを勉強しに 赴いた。自治会連合会では役員用の TPOに応じた介入マニュアルを作 成、配布し、活用していた。 ・区への未加入者のゴミ出しについ てはどこの地域においてもトラブルの 元のような。
栢宇土地区振興会	平成26年度	平成27年1月31日	福岡県みやま市高 田町	荒木製蠟合資会社 ちくご松山櫨復活委 員会	荒木製蠟合資会社 社 長 ちくご松山櫨復活委員 会	荒木 眞治 矢野 真由美	福岡県の櫨復活委員会の「ち くご松山櫨復活の経過と取り 組み」を参考に地名でもある 櫨を活かしまちづくりに繋げて いくため。	栢宇土町の名前の由来でもある櫨 (はぜ)。櫨の里でもある栢宇土町に 植樹や接ぎ木等で再度櫨を復活さ せ、紅葉による来町者の確保や櫨の 実や木材の出荷を行い、町の収入源 の確保を進めるための活動を行って いる。
志柿地区振興会	平成26年度	平成26年7月12日～ 13日	①鹿児島県薩摩川 内市 ②鹿児島県始良市	①川内原発 ②始良防災センター	担当者		先進的な取り組みを実践して いる団体及び施設を視察し、 その分野の理解と知識を深 め、今後のまちづくりに役立て る。	①原子力発電の見学。原子力発電・ 環境・エネルギーを考える施設。 ②各種災害に対する基本的な知識 や理解を深めるとともに、防災につ いての関心を高め、自助・共助による 防災活動を推進していただくことを目 的とする。

楠浦地区振興会	平成26年度	平成26年7月17日	福岡県みやま市	水上校区まちづくり協議会	水上校区まちづくり協議会 前事務局長	熊川	まちづくりを推進するリーダー的存在の人材発掘、人材育成及びまちづくりの中核を担う振興会役員と行政区長の親睦を目的とする。	水上校区将来ビジョン(10年間計画)に沿った各種事業(1)史跡案内板整備事業(校区内の主要な史跡に案内板や説明板を設置しPRする)(2)広報誌発行(校区の行事報告や連絡、人材紹介など様々な情報提供を行う)(3)水上ふれあい夏祭り(校区民総踊り、楽器演奏、バザーや出し物などの催し開催)(4)安全安心の取り組み(交通安全教室、防犯パトロールなど)(5)健康づくり・各種スポーツ大会(運動会、軽スポーツ大会、ソフトボール大会など)(6)子育ての取り組み(学校支援ボランティア、子供遊び塾など)(7)花いっぱい運動 等取り組んでいる。
宮地岳地区振興会	平成26年度	平成26年11月15日～16日	上益城郡山都町	①通潤橋・五老ヶ滝 ①山都町菅里山レストラン・縁側カフェ	担当者	-	先進的な取り組みを実践している団体及び施設を視察し、その分野の理解と知識を深め、今後のまちづくりに役立てる。	①通潤橋の放水、五老ヶ滝の遊歩道は景観を壊さないまま整備され、紅葉や景色が楽しめる避暑地である。 ②旧小学校跡地を利用した菅里山レストランの弁当は地域で生産された食材を地域の伝統料理に調理。この地域でしか食べられない田舎料理を提供している。縁側カフェは民家でのカフェやお弁当を食べる場所として利用されている。
宮地岳地区振興会	平成26年度	平成28年11月19日～20日	①佐賀市大和町 ②福岡市	①松梅地区活性化推進協議会 ②福岡市民防災センター	担当者	-	先進的な取り組みを実践している団体及び施設を視察し、その分野の理解と知識を深め、今後のまちづくりに役立てる。	①本協議会は地域を活性化する為、かかしを展示し「かかし祭り」を毎年秋に開催。収穫後の田畑を利用して、昭和のこどもの遊び、農作業風景を再現する。土日には物産販売もあり。 ②いろいろな災害の模擬体験を通して、もしものときの防災に関する知識や対策などを身につけてもらう施設。
牛深地区振興会	平成26年度	平成26年9月30日	熊本市南区	熊本市南区役所	保健こども課 課長 課長補佐 保健子ども課地域健康班 保健師	原田 壽 松崎 ひとみ 宮崎真利子 野口香鶴美	本年度より振興会活動の拠点となる施設を指定管理者として受託したことを好機に、より多くの地域住民が施設を有効活用できるよう施設整備はもとより、地域づくりメニュー(健康まちづくり具体策)の企画、運営等について教示頂き、【熊本市南区の健康まちづくり】のテーマ“市民一人ひとりの心身の健康は、地域の活力の源である”を牛深地区振興会活動へも反映させることを目的とする。	「豊田校区(旧城南町)を南区21校区の中の1つの事例として紹介」自治会等の自治協議会、PTA等関係団体と南区健康づくり事業推進プロジェクトチームが連携支援しながらワークショップを重ね、幅広い世代の声を吸い上げて校区の目指す将来像を決定した。目標へ向けた取り組みとして、事業に健康を取り入れた活動を推進している。Ex伝承遊びに健康ブースを設置、ウォーキングを取り入れた企画など。無理をせず楽しく息の長い組織づくりや活動が大切であるとのこと。

牛深地区振興会	平成26年度	平成27年2月16日	長崎県諫早市	諫早市役所高来支所 高来地域自治会連 合会 諫早市湯江地区自 治会	諫早市高来支所地域総 務課 高来地域自治会連合会 会長 諫早市湯江地区自治会 会長	竹本係長 馬場 博 山本 昭男	諫早市高来支所管内で取り 組んでいるまちづくりについて 内容を聞き、今後のまちづくり 活動に生かすことを目的とす る。	高来地域のまちづくりは、「活力があり・響きあい・高めあう」ことを基調に人づくりに主眼を置いている。人が町をつくり、町が人を育むものであり、人なくしては、まちづくりは成り立たないとの考えから青少年への関わりを重視し、地域に埋もれた資源を掘り起こすとともに、地域の課題を見出し、人の輪を広げ、住んで良かった・住んでみたいと思えるまちづくりを目指している。
宮田地区振興会	平成26年度	平成27年2月20日	熊本県上益城郡御船町 水越地区	御船地域活性化協 議会	御船地域活性化協議会	田上 他	廃校を利用した地域活性化 や配食サービス事業について 学び、宮田での今後の地域づ くりを活かすため	協議会についての映像を視聴したのち、配食サービス事業について実食するとともに、意見交換会を行った。水越地区では、平成26年5月に廃校を利用して食品加工所を開設し、イベント時の弁当作りやお年寄り向けの配食事業を展開している。
鬼池地区振興会	平成26年度	平成26年2月8日	人吉市	人吉球磨は、ひなまつり	人吉観光案内協会 ボランティアガイド	林	鬼池ひなの会の実施にあたり、ひな祭りイベントの先進地を研修し、参考とするため	人吉市及び球磨地域一帯でひな祭りイベントを開催している。各会場にていろいろなイベント、飾り付けなど行われている。
鬼池地区振興会	平成26年度	平成26年8月23日～ 24日	大分県中津市本耶馬溪町	西谷ふるさと村	西谷ふるさと村 村長 事務局長	稲尾 斉藤	旧鬼池小学校の跡地利用の検討委員会において参考とするため	地区の公民館として整備し、地域づくりの拠点として利活用を図られている。
鬼池地区振興会	平成26年度	平成27年2月8日	人吉市	人吉球磨は、ひなまつり	人吉観光案内協会 ボランティアガイド	時田	鬼池ひなの会の実施にあたり、ひな祭りイベントの先進地を研修し、参考とするため	人吉市及び球磨地域一帯でひな祭りイベントを開催している。各会場にていろいろなイベント、飾り付けなど行われている。
城河原地域づくり振興会	平成26年度	平成27年3月6日	大分県日田市大山町	大山町農業協同組 合 木の花ガルデン			農家とのかかわり方や販売方法を学び、今後の地域づくりにつなげる。	JAが直接運営、農家から直接仕入れることで安値での販売が可能。農産物直売所、食事処の他、梅野資料館等がある。他に2店舗を展開。
城河原地域づくり振興会	平成26年度	平成27年3月6日	大分県日田市天瀬町	農事組合法人 畦道グループ食品 加工組合			かりんとうの生産、販売について学び、今後の地域づくりにつなげる。	かりんとうの生産 木の花ガルデンなど大分県内の他、東京にも出荷
下田北地区振興会	平成26年度	平成26年11月2日～3 日	鹿児島県南九州市 鹿児島市	知覧平和記念館 薩摩維新ふるさと博			平和への再認識と新幹線開通による鹿児島中央駅周辺のイベント状況を視察し、温泉祭等の取り組みに活用する。	第二次世界大戦末期の沖縄戦において特攻という作戦で死んでいった若者の遺品や関係、語り部の話を聞き戦争の悲惨さを認識し、平和教育の必要性を感じた。明治維新の偉人が生まれ育った地の歴史ロード”維新ふるさとの道”において、幕末・維新期の薩摩を感じさせるイベントを視察。

下田南地区振興会	平成26年度	平成27年2月22日	阿蘇市	阿蘇神社界隈の門前町	-	-	まちづくり講演会であった坂元英俊先生の事例紹介があった阿蘇方面の地域づくりの視察研修	阿蘇神社界隈の門前町や周辺にある施設等を見分。また若い経営者仲間が先代の伝統を継ぎながら、行政に頼ることもなく、お金をかけずに町の雰囲気盛り上げている。
大江地区振興会	平成26年度	平成26年12月17日	長崎県長崎市	道の駅「夕陽が丘そとめ」長崎市役所世界遺産推進室 長崎市役所水産農村政策課	道の駅「夕陽が丘そとめ」駅長 長崎市役所世界遺産推進室係長 " 水産農村政策課食の推進係	川添 中野 黒木	大江地域の個性を見つめ、「道の駅」誘致の可能性を探る。	「道の駅」についての説明と施設見学。 ①目的と基本コンセプト②登録や設備③具体的な取り組み④情報発信と地域連帯⑤課題
大江地区振興会	平成26年度	平成26年12月18日	長崎県長崎市	長崎市役所世界遺産推進室	長崎市役所世界遺産推進室係長	中野	地域課題についての解決策や新たな取り組みを見出すなど、地域づくり活動の充実に役立てる	長崎市にある黒崎教会、大野教会、出津教会などを見聞。
富津地区振興会	平成26年度	平成27年2月15日	長崎市	大浦天主堂	NPO法人長崎巡礼センター	船井	世界遺産登録を目指す同じ構成資産の一つである大浦天主堂を訪れることにより、知識を深め、地元民としての自覚を高める。	大浦天主堂においては、巡礼センターのガイド船井さんの説明により、ヨーロッパに感動を与えた信徒発見の歴史を知り、日本二十六聖人記念館を訪れ、記念館が大浦天主堂に向かって建てられているなどの説明を受けた。
新合地区振興会	平成26年度	平成26年9月25日～26日	菊池市	きくちふるさと水源交流館	きらり水源村支館長 事務局長	平山 宮原	旧新合小学校跡地の利活用の一環として、物産加工施設の検討のため、同じ学校跡地の利活用を行っている施設を視察し、本振興会での活動の幅を広げるため。	本施設は、中学校閉校後に地元住民とともに校舎等の活用方法を検討し、平成15年開館。開館後は、国庫補助を活用して校舎の改修工事を行い、平成16年4月よりきらり水源村が施設管理等の業務委託を受託。平成18年9月、指定管理制度による管理・運営協定を締結、さらに、菊池市におけるグリーンツーリズムの拠点として本施設が位置づけられている。
本渡まちづくり協議会	平成25年度	平成25年6月27日～28日	【人材育成研修】 ①福岡県北九州市 ②福岡県宗像市	①大里柳まちづくり協議会 ②河東地区コミュニティ協議会	①担当者 ②担当者	①担当者 ②担当者	本渡地域におけるコミュニティセンター運営や管理等について、先進地を研修し、まちづくりを推進する事務局職員としての研修。 また、本渡地域のまちづくりを推進するなかで、地域の諸課題を解決し、今以上に各地域独自の特色ある地域づくり活動を展開することで地域内の活性化を図る	①コミュニティセンター管理運営 ②コミュニティセンター管理運営

本渡まちづくり協議会	平成25年度	平成25年12月14日～15日	【まちづくり研修】 ①福岡県朝倉市 ②福岡県三井郡大刀洗町	①朝倉市 ②大刀洗町	①担当者 ②担当者	①担当者 ②担当者	本渡地域の市民のまちづくりに対する意識を深め、まちづくりを推進することを目的とする。 また、本渡地域におけるまちづくりを推進する人材発掘及び人材育成を目的とし、今後の事業の展開につなげる。	①僕らの楽校、若者のまちづくり参画 ②大刀洗ランチ、官民協働のまちづくり
本渡北地区振興会	平成25年度	平成25年7月24日	宮崎県えびの市	えびの市社会福祉協議会	えびの市社会福祉協議会	坂本	地域課題についての解決策や新たな取り組みを見出すなど、地域づくり活動の充実に役立てる	地域住民やボランティア団体と協働協力して地区毎の見守り体制の整備、地域住民の顔の見える関係づくり、小さいまちだからできる顔のみえる関係を目指した地域福祉を推進している。
本渡北地区振興会	平成25年度	平成25年7月25日	宮崎市	宮崎市自治会連合会	宮崎市地域コミュニティ課 宮崎市自治会連合会長	木村川越	地域課題についての解決策や新たな取り組みを見出すなど、地域づくり活動の充実に役立てる	自治会加入率を増加させるため、勧誘が困難な集合住宅・賃貸住宅の住民に対し、不動産業界と協力し加入促進対策に取り組んでいる。
本渡南地区振興会	平成25年度	平成25年9月18日～19日	①熊本県水俣市 ②鹿児島県始良市	①熊本県環境センター ②鹿児島県防災研修センター			本渡南地区に山積する諸問題に対して、取り組みを進めている先進地の状況を視察することにより、その対策について理解を深め、今後のまちづくりに役立てる。	①ビデオによる施設の概要説明を受け、その後館内見学を行ないました。水俣市は水俣病の歴史もあり、環境問題についての取り組みは特に力を入れているようでした。また「コミュニケーション」という言葉を使い、子どもから高齢者まで一緒になって、地域全体でゴミ問題、環境問題に取り組んでいる。 ②家庭で取り組む災害対策として、非常用持出し品の準備や避難の方法等について説明を受けました。その後鹿児島県の災害の歴史や火山災害、風水害・土砂災害などの説明・館内見学を行ないました。
栞宇土地区振興会	平成25年度	平成26年1月21日	鹿児島県薩摩川内市高江町	峰山地区コミュニティ協議会	峰山地区コミュニティ協議会 会長	徳田 勝章	鹿児島県薩摩川内市にある、柳山アグリランド自然公園内で峰山地区の事業について講話してもらい、今後の地域づくりにつなげていくため。	峰山地区は、自然公園整備のため、地元住民の協力体制が確立された地区である。栞宇土町は、年々協力体制が衰退していることが現状であるが、まちづくりの推進を図るためには何より協力体制が必要不可欠であるため、先進地を視察することにより、町民の意識改革を図っている。

楠浦地区振興会	平成25年度	平成25年7月10日	大分県玖珠町	北山田コミュニティ運営協議会	北山田地区コミュニティ運営協議会会長	秋吉	まちづくりを推進するリーダー的存在の人材発掘、人材育成及びまちづくりの中核を担う振興会役員と行政区長の親睦を目的とする。	北山田地区コミュニティ運営協議会は平成18年8月に発足し、町は今までであった北山田地区公民館を廃止、コミュニティ運営協議会に管理委託をし、地域住民自ら管理運営できるようになりました。名称も「北山田公民館」から「北山田自治会館」(愛称:みかづきホール)に変更し、現在に至っている。 コミセンの指定管理を受け、コミセンを拠点としたまちづくりに取り組んでいる。
---------	--------	------------	--------	----------------	--------------------	----	--	--

<p>新和まちづくり協議会</p>	<p>平成25年度</p>	<p>平成25年12月17日 ～18日</p>	<p>大分県臼杵市</p>	<p>吉四六さんグリーンツーリズム研究会</p>	<p>「吉四六さんグリーンツーリズム研究会」会長・事務局長 「臼杵市役所地域振興部市民生活推進課」副主幹</p>	<p>川野真平 幸 よし子 小嶋佳希</p>	<p>ツーリズム事業・農家民宿運営における先進的な取組を行う地域を視察し、受け入れ体制(組織)やリスクマネジメント等の研修を行う。</p>	<p>会長、事務局長、農泊部長、事務局の4人でほぼ事業の運営を行っており、行政職員は1人もいない完全民間主導の団体(35軒)で教育旅行の受け入れ、一般客の受け入れを行っている。一般の客で特徴的なのが、APU(アジア太平洋大学)と連携した外国人の宿泊客の受け入れである。国内の教育旅行と一般宿泊客(外国人含む)の受け入れ比率はほぼ同数であるということ。 吉四六さん村GTの事業の目的は、教育旅行における道徳観などを養う“子どもの教育効果”、まちに賑わいをもたらす“地域振興”、田舎の魅力を感じてもらう“スローライフの推進”、地域の人が、様々な世代と交流し、地域の中における自分の役割、達成感など感じてもらう“生きがいくくり”の4本柱で行っている。この目的を達成するため、設立当初から毎月26日に行っている定例会では、各家庭から自慢料理を持ち寄り、全員で試食したり、作り方などをお互いに聞き、情報交換を行っているため、自然と料理のスキルアップなどの効果が出来ている。これらの取組みにより、嫌々ながらやっているところはなく、例えるなら「町内会」が活動を行っている感覚で農家民宿事業に取り組んでいる。</p>
-------------------	---------------	-----------------------------	---------------	--------------------------	--	--------------------------------	---	--

<p>新和まちづくり協議会</p>	<p>平成25年度</p>	<p>平成26年2月22日 ～23日</p>	<p>長崎県南島原市</p>	<p>南島原ひまわり観光 協会</p>	<p>南島原市企画振興部 商工観光課 副参事 南島原ひまわり観光協 会 事務局次長</p>	<p>山口篤弘 永池沙織</p>	<p>ツーリズム事業・農家民宿運 営における先進的な取組を行 う地域を視察し、受け入れ体 制(組織)やリスクマネジメント 等の研修を行う。</p>	<p>南島原市では、人口の減少、少子高齢化に より、農業地帯でありながら、農林水産業従 事者の減少、後継者が不足しているなどの問 題を抱えている。また、近年の旅行の形態が 観光型から体験型へ移行している現状を考 え、地域再生の一つの手段として農家民宿事 業に取り組んでいる。農家民宿では、平成24 年度に17校、2,831人の修学旅行生、一 般客で598人、合計3,429人を受け入れて いる。総務省の試算では、旅行者訪問におけ る地域への経済波及効果は、宿泊料の概ね 2.5倍から2.7倍という指針もあり、地域経 済へ大きく貢献している。 組織については、平成18年に8つの町が合 併して誕生した南島原市であるが、合併前に 主にイベントの受け皿として存在していた4つ の観光協会をいったん解散し、現在の「南島 原ひまわり観光協会」を設立している。設立 当初は、主に市職員が兼務して行っていた業 務を約1年後には、観光協会職員として3人 採用している。教育旅行(修学旅行)、一般の 宿泊依頼から配宿については、全て観光協 会で行っている。また、観光協会であるため、 農家民宿事業だけではなく、観光誘致活動、 広報活動、イベントやキャンペーンの企画な ども行っている。行政側の支援としては、補助 金などの情報の提供や農家民宿世帯増加の ための援助などを行っている。また、教育旅 行(修学旅行)の受け入れ時には、市長自ら 歓迎あいさつを行うなど市として積極的な支 援を行い、本事業に取り組んでいることがう かがえる。</p>
-------------------	---------------	----------------------------	----------------	-------------------------	---	----------------------	---	--

小宮地地区振興会	平成25年度	平成25年11月28日～ 29日	佐賀県	吉田地区地域コミュニティ運営協議会 (有)鮎の里			新和まちづくり協議会主催。嬉野市のコミセンの運営や地域づくりの内容を聞き、今後のコミセン運営と地域づくりにつなげるため。	嬉野市では、「吉田地区地域コミュニティ運営協議会」を設立。地域住民がお互いに協力して、地域の課題解決や活性化に向けた話し合いや活動を行っている。 鮎の里では、女性起業による地域農作物の加工・販売をおこなっており、品物売るだけでなく、おいしい料理方法を提供したり、利用者とのコミュニケーションづくりなど人と人とのつながりを持てるようにと、飲食店も経営している。
小宮地地区振興会	平成25年度	平成26年2月5日	熊本県熊本市				熊本県が開催したセミナー「まもとコミュニティ・ビジネス(育成段階)。コミュニティ・ビジネスの手法を聞き、今後の惣菜販売につなげていくため。	県外優良事例講演(なかわり生姜山農園)。 鹿児島県西之表市において、集落名に由来する生姜栽培を復活させ、生姜で交流事業や商品開発などに取り組まれている。 県内事例発表(農事組合法人多良木のびる)。 多良木町において、規格外の農産物を買上げ、加工して新たな特産品の開発に取り組まれている。
大宮地地区振興会	平成25年度	平成25年8月24日 ～8月25日	大分県上津江村 大分県日田市	上津江フィッシングパーク (上津江村) ひた三隈川鮎祭り (日田市)			大宮地地区振興会では、大宮地川の自然をテーマにした事業に取り組んでおり、「川を活かした地域づくり」を行っている先進地を参考とするために研修を実施	・上津江フィッシングパーク(大分県上津江村) 自然の溪流をいかした釣り場を視察。ニジマスやヤマメを放流し釣りを楽しめ、釣った魚は園内で食べることもできる。 ・ひた三隈川鮎祭り(大分県日田市) 当日は大雨増水により祭りが中止となり、アユの築場を視察した。築場近くではアユの塩焼きが楽しめる。 ※研修参加人数:18人

新和まちづくり協議会	平成25年度	平成25年11月28日 ～29日	佐賀県嬉野市 鹿嶋市 唐津市	「嬉野市企画部地域 づくり・結婚支援課」 「吉田地区地域コ ミュニティ運営協議 会」 「肥前浜宿」 「有限会社鮎の里」	「嬉野市企画部地域づ くり・結婚支援課」 「吉田地区地域コミュ ニティ運営協議会」 「肥前浜宿」 「有限会社鮎の里」	課長 会長 代表取締役徳田裕 子	先進的なまちづくりに取り組 んでいるところを視察研修す ることにより、本町のまちづく りや地域活性化へ向けて検 討の場とすることを目的に実 施した。	まちづくり協議会委員、各地区振興 会役員及び事務局27名が参加し、新 和まちづくり協議会主催の先進地研 修を実施。佐賀県嬉野市では、地域 づくり・結婚支援課並びに吉田地区 地域コミュニティ運営協議会において コミュニティづくりのための研修を実 施。行政側の地域支援策や取組み 状況について詳しく説明を受けると ともに、吉田地区地域コミュニティ運営 協議会の設立に至った経緯、コミュ ニティづくりのための事業展開の手法 等について研修を受けるとともに意 見交換を行った。 また、唐津市七山の有限会社鮎の里 では、コミュニティビジネスを通じた地 域の活性化策についての取組み事 例等について研修を受けた。
二江地区振興会	平成25年度	平成26年3月1日	球磨郡球磨村	田舎の体験交流館 「さんがうら」	施設長	富永敏夫	平成26年3月末で廃校になっ てしまう二江小学校校舎の利 活用についての参考とするた め。	球磨郡球磨村大字三ヶ浦地区では、 廃校になった校舎を国等の補助金を 活用して改修し、各種農業体験のイ ベントや宿泊施設を運営している。運 営形態は、公設公営で村長が館長と なり、地域の各種団体が運営に関わ るなど、集落が一体となって運営し ており、都会から農業体験を求める子 ども、学生、社会人などの利用者が 多いとのこと。 近くに宿泊施設や公共施設がなく、 連帯感の強い中山間地域だからこそ 成功しているのだと感じた。
城河原地域づくり振興会	平成25年度	平成26年3月3日	熊本県玉名郡玉東 町	玉名市農業協同組 合 玉東支所 農場			ハニーローザ(すもも)の栽培 方法を学び、特産品化に取り 組むいくり(すもも)の栽培に つなげる。	JAが指導し、農家がハニーローザ (すもも)を栽培、アイスとして商品 化。
城河原地域づくり振興会	平成25年度	平成26年3月4日	福岡県福岡市東区	農産物直売所 ぶど う畑	社長兼店長	新開 玉子	農産物直売所をはじめたきっ かけや、取り組みを学ぶとと もに、施設を見学し、今後の 地域づくりにつなげる。	近隣農家や自分たちで栽培した農産 物の販売、それらを材料にした弁当 などを販売。水耕栽培の施設を併設 している。農産物直売所をはじめた きっかけや、食へ対する思いをか たっていた。
下田南地区振興会	平成25年度	平成26年2月2日	球磨郡球磨村	体験交流館さんがう ら	施設長	富永敏夫	閉校となった小学校の活用	「さんがうら」は県内外より企業や学 校の会議、研修、宿泊や一般の利用 も受け入れ、自然の中での里山体験 や農林体験を通じて、地域に暮らす 人々の新たな交流の場となっている。 る。

下田北地区振興会	平成25年度	平成25年12月6日	熊本県熊本市	熊本県庁 くまもと地域づくり講演会			くまもと地域づくり講演会で基調講演や事例発表を拝聴し、地域づくりへ役立てる。	基調講演:『創造的過疎への挑戦』～ヒトミクスから考える地域の未来～ 大南信也氏 ＜県内の事例発表＞ 件の「地域づくり夢チャレンジ事業」を活用した地域活性化の取り組みを発表！ ◇【美里町】美里フットパス協会 濱田 孝正氏 ◇【山都町】菅地区山村交流ビジネス協会 菅 潤一郎氏
高浜地区振興会	平成25年度	平成26年3月8日	宮崎県西臼郡五ヶ瀬町	五ヶ瀬ワイナリー	五ヶ瀬ワイナリー	宮野	ぶどう栽培や加工品の先進地である「五ヶ瀬」の取り組みを学び、今後の活動に役立てる	ぶどう栽培や加工品の先進地である「五ヶ瀬」の研修
河浦まちづくり協議会	平成25年度	平成25年6月27日	福岡市	(有)ぶどう畑	新開店長	新開	6次産業化事業で取り組まれている野菜を水耕栽培し販売されている会社を訪問し成功のポイントを学ぶ。	食生活の乱れなどを直すことで社会貢献したいとの思いから、5人の仲間と共に(有)ぶどう畑を設立し、店舗の横に国補助によりハウスを建設し、ベビーリーフやほうれん草などを水耕栽培し、店舗での販売している。また、各地から仕入れている良質な農産物を販売したり、自社製造の弁当を販売している。
河浦まちづくり協議会	平成25年度	平成25年6月28日	阿蘇市	阿蘇市社会福祉協議会	協議会職員	—	災害発生時などに大きな効力を発揮するネットワーク事業について、他地域での取り組みを学習し今後の活動に繋げる。	民生委員をはじめ婦人会・子供会など幅広い地域団体の代表者で構成する地区ネットワーク連絡会を設置し、区内の地区毎に一人ずつ区長が選任した福祉協力員を配置して見守りや声かけなどの活動をされている。この地域は、九州北部豪雨災害で人命が奪われる甚大な被害を受けたため、防災意識が高まり独自に緊急避難場所を設置している。
富津地区振興会	平成25年度	平成26年2月25日～26日	鹿児島県さつま町	さつま町グリーン・ツーリズム研究会	さつま町役場 農政課 グリーン・ツーリズム研究会 会長	川畑 山下	地域の活性化及び住民主体のまちづくりを推進し、自立した明るい地域づくりを目指して、農家民泊等に取り組んでいる先進地を研修する	さつま町役場会議室において、研究会の設立や組織運営の説明を受け、グリーン・ツーリズム研究会会長で「竹の子村」経営の山下さん、副会長で「農家民宿美の里」経営の西之原さん、などの民宿運営の基本などをうかがった。

本渡まちづくり協議会	平成24年度	平成25年2月2日～3日	【まちづくり研修】 ①宮崎県日南市飫肥町 ②宮崎県宮崎市 ③宮崎県東諸県郡綾町	①日南市観光ボランティアガイド 日南市観光協会(財)飫肥城下町保存会歴史資料館 ②いっチャが宮崎・楠並木朝市実行委員会 ③綾町	①会長、事務局次長、館長 ②副会長 ③建設課長、社会教育課長	①多田、斎藤、郡司 ②岡崎 ③宮原、谷口	本渡地域の市民のまちづくりに対する意識を深め、まちづくりを推進することを目的とする。 また、本渡地域におけるまちづくりを推進する人材発掘及び人材育成を目的とし、今後の事業の展開につなげる。	①地域づくり、ボランティアガイド ②いっチャが宮崎・楠並木朝市 ③花のまちづくり
本渡まちづくり協議会	平成24年度	平成25年3月14日～15日	【人材育成研修】 ①福岡県宗像市 ②福井科研福岡市	①南郷地区コミュニティ協議会 ②唐津海道姪浜まちづくり協議会	①担当者 ②担当者	①担当者 ②担当者	本渡地域におけるまちづくりを推進するリーダー的存在である本渡まちづくり協議会委員の研修。 また、本渡地域のまちづくりを推進するなかで、地域の諸問題を解決し、今以上に各地域独自の特色ある地域づくり活動を展開することで地域内の活性化を図る	①まちづくり、コミュニティ施設指定管理 ②まちづくり、コミュニティ施設指定管理
本渡南地区振興会	平成24年度	平成24年11月14日～15日	福岡県福岡市	①福岡市民防災センター ②有限会社 ぶどう畑			本渡南地区に山積する諸問題に対して、取り組みを進めている先進地の状況を視察することにより、その対策について理解を深め、今後のまちづくりに役立てる。	①自然災害の状況やメカニズムについて、ビデオによる説明、火災体験・地震体験・強風体験・消火訓練を参加者全員で行ないました。体験コーナーでは、震度7が来たときや風速30mの強風の中での対応策について学んだ。 ②ぶどう畑で都市と農村の交流の取り組みについて、説明をうけた。現在の農村(いなか)は経済が低迷、停滞しているので農村(いなか)が経済活動を活発に行なうことが大切であると考えており、ぶどう畑は、地産地消だけでなく国産国消の考えで販売所を経営しているとの説明が行われた。
本渡北地区振興会	平成24年度	平成24年7月26日	大分市	中島西自治会	大分市市民部市民協働推進課中島西自治会長	正池竹上	地域課題についての解決策や新たな取り組みを見出すなど、地域づくり活動の充実に役立てる	地域住民に開かれ、活力ある自治会活動の推進に取り組まれている。
本渡北地区振興会	平成24年度	平成24年7月27日	大分県日田市	日田市バイオマス資源化センター	日田市バイオマス資源化センター	矢野	地域課題についての解決策や新たな取り組みを見出すなど、地域づくり活動の充実に役立てる	バイオマス利活用の現状やセンターの概要、バイオマス資源の収集状況などについて説明、施設見学。

栢宇土地区振興会	平成24年度	平成25年1月19日	福岡市南区中尾	農産物直売店「ぶどう畑」	直売店 代表	新開 玉子	農産物直売店を視察し、栢宇土町の6次産業につなげていくため。	少子高齢化に伴い、農業者や後継者減が見られる中、町の農産物を活かした6次産業を確立していきたい。現在、町の1次産業を活かした2・3次産業が進んでいないため、加工であったり販売ルートについてのノウハウを勉強していく。
栢宇土地区振興会	平成24年度		福岡市早良区百道浜	福岡市防災センター	—	—	24年度は初めて町防災訓練を計画したことから、防災センターを見学し、自主防災訓練に役立て、防災に対する意識を持つため。	町の防災組織活動として、消防署員等による講話を年1回実施をしていたが、東日本大震災発生以降、防災組織の在り方や訓練実施の重要性が見直されてきた。1人でも多くの町民に、先進地視察や自主防災会活動に参加していただき、災害時の備えや対応についての知識の向上を図っている。
志柿地区振興会	平成23年度	平成24年1月24日～25日	①福岡県北九州市 ②福岡県福岡市	①北九州市エコタウンセンター ②福岡市民防災センター	担当者		先進的な取り組みを実践している団体及び施設を視察し、その分野の理解と知識を深め、今後のまちづくりに役立てる。	①リサイクルを身近に感じ、環境問題に興味をもつきっかけになるようにと、リサイクル工場の見学を行っている。 ②いろいろな災害の模擬体験を通して、もしものときの防災に関する知識や対策法などを身につけてもらう施設。
佐伊津地区振興会	平成24年度	平成25年2月23日～24日	大分県中津市	三光佐知まちづくり団体 竹馬会	竹馬会事務局	相良 卓紀	地域のリーダーとなる人材の発掘や育成及び、まちづくりへの住民の巻き込み方や活動を楽しめるヒントを得、今度のまちづくりの参考とするため	1989年夏、全国初となる「沼田バレーボール大会」を開催。現在は沼田バレー以外でも地元、佐知地区の自治活動やコミュニケーションづくりなど様々な活動をおこなっている。
佐伊津地区振興会	平成24年度	平成25年2月23日～24日	大分県日田市	豆田町			地域のリーダーとなる人材の発掘や育成及び、まちづくりへの住民の巻き込み方や活動を楽しめるヒントを得、今度のまちづくりの参考とするため	美しいまちなみ大賞を受賞した豆田町の街並みや市民あがりの観光客へのおもてなしの取り組みを行っている。
佐伊津地区振興会		平成28年2月3日	熊本県水俣市	熊本県環境センター		平尾	先進的な取り組みを実践している団体及び施設を視察し、その分野の理解と知識を深め、今後のまちづくりに役立てる。	水環境問題やごみ問題について、講義及びパックテストを交えた研修を行った。

宮地岳地区振興会	平成24年度	平成25年2月16日～ 17日	①佐賀県鹿島市 ②佐賀県藤津郡太良町 ③長崎県長崎市軍艦島	①肥後浜宿 ②農事組合法人多良岳 ③軍艦島資料館	担当者	-	先進的な取り組みを実践している団体及び施設を視察し、その分野の理解と知識を深め、今後のまちづくりに役立てる。	①古い街並みが残る地区で江戸時代には宿場町として栄え、良質な水と米に恵まれ、酒蔵が数箇所あり他にも修復された歴史的建造物が多数残る場所。 ②平成20年に4人の農家で農事組合法人を設立し、総事業費2億2千万円(内負担額1億2千万円 国県町補助金総額1億円)で基盤整備とボーリング工事などを行い、約130アールの水田に「ボックス式水耕栽培法」で4万8千本のわさび苗を植え付け栽培している。 ③日本の近代化に貢献した軍艦島(世界文化遺産登録)の役割、当時の人々の生活を知ることができる資料館。
牛深地区振興会	平成24年度	平成25年2月4日	阿蘇郡高森町	高森町役場 高森町草部北部交友会	政策推進課 課長 草部北部交友会会長 副会長 会員	甲斐 敏文 甲斐 世津雄 井上 今朝一 興梠 寿一	高森町草部北部で取り組んでいるまちづくりについて内容を聞き、今後のまちづくり活動に生かすことを目的とする。	草部北部は、行政区2(地区数9)人口241名、高齢化率42.7%で、20年後には、62名、高齢化率59%と過疎高齢化がより一層進む見通しである。当初は、閉校後の小学校を拠点に運動会、郷土芸能継承、草刈りを実施していたが、過疎高齢化に伴い10年間活動停止していた。もう一度原点に戻り組織改革を行い現在は、どんどや、ウォーキング、トレッキング、もみじ祭り、夏祭り、クリーン作戦、運動会、敬老会、郷土芸能継承等様々な活動に取り組んでいる。
有明まちづくり協議会	平成24年度	平成24年9月3日～ 4日	宮城県東松島市	宮城県社会福祉協議会 大曲市民センター 災害ボランティアセンター	会長 所長	阿部 阿部 高橋	東日本大震災復興コミュニティについての研修	誰もが経験したことのない自然災害の後、復興に向けて地域が一丸となって取り組んでおられること。又、日本全国から大勢のボランティアの支援を受ける中、行政と住民との橋渡しの機関とし大きく寄与していた。
新和まちづくり協議会	平成24年度	平成24年7月16日	長崎県西海市	西海市役所 市民環境部環境政策課	西海市長 長崎県亜熱帯植物園顧問 環境政策班	田中隆一 中西弘樹 岩松裕介	西海市で開催された「ハマボウサミットin西海市」に参加し、取組団体の保全活動や今後の方向性などを聞き、新和のはまぼう群生地をどう活かしていくかについて参考とした。	「ハマボウサミット」は、宮城県延岡市で初めて開催されたが、準絶滅危惧種とされていることもあり途絶えていたが、環境政策に力を入れている西海市によって2回目が開催された。遠くは三重県南伊勢町から活動団体の代表者を招き取組報告やパネルディスカッションが行われた。当協議会からも取組発表やディスカッションのパネラーとして参加した。

新和まちづくり協議会	平成24年度	平成24年11月29日 ～30日	球磨郡球磨村 薩摩川内市	「田舎交流館さんが うら」 「大馬越地区コミュニ ティ協議会」	田舎の体験交流館「さ んがうら」 施設長 大馬越地区コミュニティ 協議会 会長	富永敏夫 水流信雄	先進的なまちづくりに取り組 んでいるところを視察研修す ることにより、本町のまちづく りや地域活性化へ向けて検 討の場とすることを目的に実 施した。	まちづくり協議会委員、各地区振興 会役員及び事務局24名が参加し、新 和まちづくり協議会主催の先進地研 修を実施。研修内容として、廃校校 舎を利用し交流活動事業をととした 地域おこしを実践されている球磨郡 球磨村の「田舎の体験交流館さんが うら」と耕作放棄地を活用し、地区住 民一体となり、しその栽培から特産 品「しそっぷ物語(しそジュース)を製 造販売され、九州農政局長賞を受賞 された鹿児島県薩摩川内市の大馬 越地区コミュニティ協議会を訪問し、 事業に至った経緯や事業展開の手 法等について研修を受けるとともに 意見交換を行った。
	平成24年度	平成24年10月23日	南阿蘇村	しゃえんば食堂			生活環境部会のコミュニティ ビジネス(新和のかまや「はま ぼう」)で行っている、惣菜の 加工や販売につなげていくた め。	しゃえんば食堂を運営しているのは、 地域活性を目的にコミュニティビジ ネスを起こそうと集まった、老若男女の グループ「はさこの会」。菜園でとれ た新鮮な食材を使って、田舎ならで はの料理をふるまっている。
	平成24年度	平成24年11月29日～ 30日	球磨村 鹿児島県薩摩川内 市	田舎交流館 さんが うら 大馬越地区コミュニ ティ協議会			新和まちづくり協議会主催。 今後の振興会活動などの地 域活性化とコミセン運営につ なげるため。	田舎交流館さんがうらでは、閉校した 小学校を利用して、自然体験(グリー ンツーリズム)などを行い交流の場と して活用している。 大馬越地区コミュニティ協議会では、 コミセンを拠点に、地域活性化を目 指した活動を行なっている。
小宮地地区振興会	平成24年度	平成25年2月28日～3 月2日	長崎県五島市	五島市役所			五島市のつばき油の内容を 聞き、産業振興部会の特産品 づくりにつなげていくため。	五島市では、昔から椿が群生してお り、様々な椿商品が販売されている。 新和町で椿を育てるには、10年はか かり、専用の機械も必要だということ など、現実的な話を聞いた。
鬼池地区振興会	平成24年度	平成24年11月19日	阿蘇市	なみの高原やすらぎ 交流館	なみの高原やすらぎ交 流館 館長	望月	廃校を活用した地域づくりに ついて、先進地を研修し鬼池 地区の利活用の参考とするた め	小学校の統廃合により廃校となった 小学校跡地を「都市と農村の交流」 拠点となる宿泊研修施設として整 備。体験交流活動を実施している。

御領地区振興会	平成24年度	平成24年11月25日	熊本県水俣市	水俣市久木野ふるさとセンター愛林館	館長	沢畑亨	水俣市久木野の村おこし施設として平成6年に建設された愛林館の村づくりについて研修を行い、今後の地域づくりのヒントとするため。	愛林館の館長は全国公募。今後2000年間この地に人が住み、森と棚田を守っていける村づくりを目標としている。活動内容は、ボランティアによる働く田助手(助けて)、耕作断念地の管理、棚田のあかりイベントを行うとともに、食育の実践講座、学童の農業体験、石垣積教室などの取組も行っている。また、地元の農産加工品、香り米などの販売も手がける。
二江地区振興会	平成24年度	平成25年3月16日	長崎市茂木町南島原市小浜町	まちあるき観光「長崎さるく」	茂木地区振興協議会会長 茂木校区連合自治会長 茂木校区連合自治副会長(茂木みなと散歩ガイド) 茂木支所長 小浜温泉観光協会(小浜温泉ぶらぶら歩きガイド)	大串恒文 森 茂八郎 高橋貞信 岩永一富 吉岡	長崎県下各地で繰り広げられている「長崎さるく」の体験と、ガイドの方から直接話を聞くことで、「二江ぐるっとウォーク」の内容充実につなげていくため。	平成21年度から開催している二江ぐるっとウォークには、市内外から毎年200名弱の参加者があり、景色や食事など大変好評をいただいている。しかし、受け入れ態勢(スタッフ・施設)に限りがあるため、これ以上の参加者増には対応できないが、参加者に地域のことを案内してくれるガイドの育成が課題である。
城河原地域づくり振興会	平成24年度	平成25年3月6日	長崎県大村市	おおむら夢ファーム			農産物の販売、手作り体験、収穫体験施設を視察し、今後の地域づくりにつなげる。	おいしいスイーツと新鮮野菜。手づくり体験に収穫体験。家族そろって楽しめる。 H19全国地産地消活動交流促進部門で最高賞の農林水産大臣賞受賞
高浜地区振興会	平成24年度	平成25年2月2日	山鹿市菊鹿町五郎丸828	菊鹿町有機液肥供給施設	ぶどう生産者	小林 博臣	ぶどう栽培や加工品について、生産者から直接学び、今後の活動に役立てる	ぶどう棚の製作方法、収穫量を増やすための取り組みや加工品への取り扱いについての研修
河浦まちづくり協議会	平成24年度	平成25年3月6日	玉名郡和水町	夢ランド十町	荒木会長・池上前会長	荒木 池上	通常の地域での取り組みを地域資源として、来訪者を呼び込もうと独特の発想で活動されている「夢ランド十町」の取り組みを今後の取り組みに活かすため。	昔から地域で祀られている八つの神様はそれぞれ人の体の神様であることから、地域の内外から健康祈願に来てもらおうと、清掃活動などをされている。また、子供の居場所づくりや、世代間交流などの取り組みを拠点施設「ちびっこ夢ランド」で活動されている。
河浦まちづくり協議会	平成24年度	平成25年3月7日	菊地市	NPO法人きらり水源村	平山館長・宮原事務局長	平山 宮原	全国的にも学校の閉校後の利活用が課題となっているが、活用の成功事例「きくちふるさと水源交流館」の活動を学び今後のまちづくりに活かすため。	旧木造校舎を国庫補助を活用し改装し、NPO法人きらり水源村(館長・専従4人)が管理業務を受け、自然体験・農業体験・農業学校による就農支援などの活動のほかスポーツ合宿の受入、同窓会などでの活用もある。この法人は、総務大臣賞などを受賞されている。

富津地区振興会	平成24年度	平成25年2月8日	熊本市	くまもと古町案内人 (商栄会の有志)	商栄会	上村	古い町並みの保存や町人ガイドの学習	「くまもと古町案内人(商栄会の有志)」の上村さんや仲間の人に町案内をしてもらった。昔からのとても古い町並みがたくさん残っており、1時間30分のコースで町案内をしてもらった。交流センターでは、民謡「おてもやん」の作者永田イネさんの話に始まり、歴史ある町屋の屋根と壁を市助成で改修中の建物や、古民家を改修して住まいとされているお宅などを案内してもらい、説明を受けた。
新合地区振興会	平成24年度	平成24年10月25日～ 26日	球磨郡湯前町	下村婦人会	下村婦人会会員		下村婦人会が作る『市房漬』の生産方法や販促のノウハウを学び、新合地区での取り組みの参考とするため。	下村婦人会は、昭和39年に家庭料理として自家製野菜を自家製味噌に漬けた味噌漬け伝わってきた市房漬を商品化し、以後、県庁や鶴屋、東京の三越などで販売されてきた。最初は販路拡大がネックとなっていたが、県内の各所で自分たちで顧客を増やすため、販売を続けてきた。(現在は農事組合法人となっている。)
牛深地区振興会	平成23年度	平成24年2月5日	鹿児島県日置市	日置市役所総務企画部地域づくり課 伊集院地区公民館 土橋地区公民館	総務企画部地域づくり課長 伊集院地区公民館長 土橋地区公民館支援員		日置市における共生協働のまちづくりについて内容を聞き、今後のまちづくり活動に生かすことを目的とする。	行政だけでなく地域の自治会、ボランティア、NPO、企業など多様な主体が地域社会の担い手となり相互に連携・協力して地域の課題解決に取り組む「共生・協働の地域社会づくり」を推進し、持続可能な地域社会の構築を目指している。まちづくり団体としては、地縁に基づく自治組織として「自治会」と小学校校区の範囲に市が設置した協働の組織として「地区公民館」があり、特色のある活動を行っている。
牛深まちづくり協議会	平成23年度	平成24年2月12日	鹿児島県薩摩川内市	峰山地区コミュニティ協議会			指定管理制度を十分に理解しコミュニティセンター管理運営業務を適正に実施し、地元雇用制度の導入を地域づくりに活かすことや平成25年度からの事業計画を考えるため	組織や事業取り組み施設の管理運営について研修を受けた。